

<p>I ミッション（地域社会で本校の果たすべき使命） 【世羅町教育プラン】 豊かな心を持ち、たくましく未来を拓く、しなやかで、品格のある生徒の育成</p>		
<p>II ビジョン（めざす学校像） 学んでよかった（生徒）、学ばせてよかった（保護者）、学ばせたい（地域）、やりがいのある（教職員）学校</p>		
<p>III 校訓 「自主・自律・創造」</p>		
<p>IV 学校教育目標（めざす生徒像） <b>豊かな心で主体的に学び合い、自己実現を果たせる生徒の育成</b></p>		
<p>＜豊かな心をもつ生徒＞</p> <p>(1) 道徳心を高め、自他を尊重し合う生徒 (2) 協力し合い、感謝の気持ちを伝える生徒 (3) 地域を理解し、郷土に愛着と誇りをもつ生徒</p>		<p>＜主体的に学ぶ生徒＞</p> <p>(1) 課題発見・解決に向けて主体的に取り組む生徒 (2) 協働的な学びと対話により思考を深める生徒 (3) 確かな学力を身につけ、学ぶ意欲をもつ生徒</p>
<p>＜自己実現を果たせる生徒＞</p> <p>(1) 「自分是可以る」と信じて取り組む生徒【自己効力感】 (2) 自分の考えや思い等を言動で表現できる生徒【表現力】 (3) 誰かに必要とされていると感じている生徒【自己有用感】</p>		
<p>3 育成をめざす 資質・能力</p>		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体性、人間性
<p>【めざす教職員像】</p> <p>(1) 職責を自覚し、組織的に、率先垂範して指導する教職員 (2) 子どもに寄り添い、自立と自己実現を支援する教職員 (3) 志や目標をもって、自らの資質・能力を向上させ続ける教職員</p>		
学校経営方針	<p>学校運営協議会、小中連携、生徒会活動、カリキュラム・マネジメント(組曲「明神の舞」)を基盤にしたルーブリック評価の取組を学校経営の柱とし、地域内外の人材と教育資源を有効活用しながら、豊かな心で主体的に学び合い、自己実現を果たせる生徒を育成する。</p>	
学校経営重点目標	<p>(1) 「指導と評価の一体化」を目指した「学習評価」の研究・研修に取り組むことを通して、指導の改善や学習意欲の向上を図り、生徒の資質・能力の育成を行う。(小中連携)。 (2) 生徒の習熟度に応じた課題を、生徒自らが選択しながら取り組む「家庭における自学自習」を定着させることで個別最適な学びの充実を図る。 (3) カリキュラム・マネジメントを基盤にしたルーブリック評価を活用した教育活動のブラッシュアップを行いながら生徒の自己効力感、自己有用感、表現力の質の向上を図る。</p>	
実践内容	<p>(1) 「指導と評価の一体化」を目指した「学習評価」の研究・研修(小中連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主要5教科のうち1教科と技能教科1教科をモデルに、観点別評価の「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の評価(判断)基準をルーブリック評価で明確にする。</li> <li>○ 評価(判断)基準をもとにした指導の改善(ICT機器の効果的活用等)や学習意欲の向上を図り、生徒の資質・能力の育成を行う。</li> </ul> <p>(2) 生徒自らが選択しながら取り組む「家庭における自学自習」の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の習熟度・理解度に応じた各教科における課題を、生徒自らが選択できる「家庭における自学自習」に取り組ませ、自ら主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> <li>○ 学習評価につながる課題を粘り強く取り組むことができる生徒を育成する。</li> <li>○ 不登校及び不登校傾向の生徒の「学力保障」につなげ、適切な評価を行う。</li> </ul> <p>(3) カリキュラム・マネジメントを基盤にしたルーブリック評価の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間と各教科、道徳などの教科横断的なカリキュラム・マネジメントを推進し、ルーブリック評価を活用した教育活動をブラッシュアップすることで、生徒の自己効力感、自己有用感、表現力の質の向上を図る。</li> </ul> <p>(4) 「特別支援教育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援教育委員会を中心に、生徒の実態把握と連携を日常的に行うことで、特別支援の充実を図り、必要に応じて関係諸機関と積極的に連携する。</li> </ul> <p>(5) 「キャリア教育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験学習を充実させ、社会性や実践力とともに、望ましい職業観、勤労観を育むキャリア教育を推進する。</li> </ul> <p>(6) 「英語力」の向上の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A L Tを活用して、英語によるコミュニケーション能力と豊かな国際感覚を身に付けさせるとともに、英検 IBA等の取組を通じて英語力を向上させる。</li> </ul> <p>(7) 「ことばの教育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての教育活動において、言語活動の充実を図り、生徒の思考力・判断力・表現力等を育む。</li> </ul> <p>(8) 「食育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科や関係機関と連携しながら、食の大切さを理解させ、食を通じて自己の健康管理が行えるよう指導し、家庭への啓発を図る。</li> </ul> <p>(9) 教職員の Well-Being の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務改善を通じた時間外勤務の減少を図るとともに、教職員の「やりがい」や「働き甲斐」等の Well-Being の醸成を図る。</li> </ul>	